



国際交流員
ウオン・チンイン・クレオ

今月のテーマ カルチャークラブ料理動画レッスン

日増しに暖くなり、早春の息吹を感じるこの頃です。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

観光定住課の国際交流員として、観光とインバウンド関係の仕事以外に、コロナの前は外国の文化を紹介するイベントやカルチャークラブを開催していました。でも最近はコロナ感染症の影響で、料理教室を開催することはできなかったのですが、「料理動画レッスン」の形式で、料理教室をオンラインで開きました。



LESSON 01

ポーランドと香港料理

去年 10 月に、隠岐の島町の国際交流員、イザベラさん（ポーランド出身）を招いて、二人でポーランドと香港の家庭料理を紹介する動画を作りました。イザベラさんは「クルスキ・シロンスキエ」（ポーランド語：Kluski śląskie）と言うジャガイモでできた茹で団子と、「シシュカ」（ポーランド語：Szyszka）と言うチョコレートとポン菓子でできたお菓子を紹介してくれました。私は香港のトマトとタマゴの中華炒め（繁体字：番茄炒蛋）と「トン・バツ・ラッ」（繁体字：糖不甩）と言う中華白玉団子の作り方を紹介しました。

お互いにとって初めての外国料理で、新しい調理法だけでなく、料理の背景と食文化についても勉強になりました。



LESSON 02

香港の冬至デザート

去年の冬至に合わせて、「トン・ユン」（繁体字：湯圓）と言う、香港の冬至デザートの作り方を紹介しました。丸い「トン・ユン」は「家族団らん・円満」の意味が入っていて、家族団らんの食事には不可欠の存在です。

一人で下準備、調理と撮影をして、丸一日かかりましたが、視聴者に外国の文化を知ってもらいたい気持ちがいっぱい、疲れも忘れます。



LESSON 03

旧正月とさまざまな風習

料理教室ではありませんが、先月は旧正月に合わせて、カルチャークラブ動画レッスンを開きました。カルチャークラブ動画は 3 回もあります。浜田市の国際交流員、アインさん（ベトナム出身）をゲストスピーカーとして招いて、ベトナムでの旧正月を紹介していただきました。話を聞いてみると、香港とベトナムの旧正月の風習は似ているところと異なっているところもあり、とても面白かったです！



「カルチャークラブ料理動画レッスン」は「西ノ島町国際交流員 Oki Nishinoshima CIRs」と言う Facebook ページに公開しています。



<https://www.facebook.com/nishinoshimacir/videos>

皆さんもぜひご覧ください！



地域おこし協力隊 編集後記

3月号
＜最終回＞



地域おこし協力隊
山中 じゅん子

こんにちは！日ましに暖かくなり、春の訪れを感じる季節となりました。
私事ですが、3月末で地域おこし協力隊の任期が満了となります。これまで広報
の連載をお読みいただき、応援してくださり、誠にありがとうございました。
現在は、3月中に発行予定の「移住者サポートブック（仮）」の制作大詰め中です。
せっかくなので、取材の中で心に残った西ノ島町移住者の皆さんの言葉を以下に
おすそ分けしたいと思います。ぜひ、ご覧ください。

「ひとりで悩んでいても何も変わらないけど、行動したら何かが変わる」

「毎日夢中で生きていて、あまり覚えていない」

「西ノ島に来てから“まあ、いっか”と思えるようになった」

「まじめに生きたいわけじゃない」「職場に〇〇さんがいてくれてよかった」

ありがとうございました！

写経写佛会に参加しました！

西ノ島町観光協会 長谷川 良菜

こんにちは。地域おこし協力隊の長谷川です。地域おこし協力隊として西ノ島に来て、早いものでもうすぐ1年です。憧れていた島暮らしは新鮮で、楽しい1年を過ごすことができました。

海はさすがに見慣れてきましたが、摩天崖や国賀海岸には、今でも行くたびにテンションが上がっています。ただ移住前の想像よりは行く回数は少ないです。週末のたびに行けるようになる!!くらいに思っていました、そんなわけはなかったです。休みの日に家から出たくない日があるのはどこに住んでも同じですね。出不精にならずに、2年目はさらに西ノ島を満喫したいと思います！

先日、専念寺で行われた「写経写佛会」に参加しました。写経をした1月31日は旧暦で大晦日だそうです。1年の締めくくりとして写経を体験し、邪念を払って新年を迎えることができました。みなさまは写経をしたことがありますか？

書き始めは静けさが気になったり、足痛いなぁと思ったり、余計な事が頭をよぎりますが、書いていくにつれ集中力が高まり、気付けば書き終えています。写経を終えた後は心が洗われた感じがして、とても気持ちが良いです。

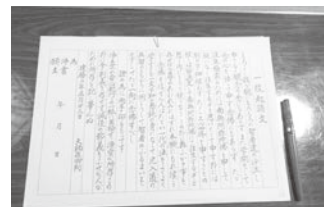
写経の後には、お坊さんや参加している地域の方

とお話できる時間がありました。お坊さんと気軽に会話ができることなんて今までになく、宗派のお話や修行のお話などを直接聞くことができ勉強になりました。無知なことばかり質問しても、優しく教えてくれるので嬉しかったです。

地元に暮らしていた時は、町内で開催されているイベントなど知ることもなかったので、自ら進んで参加しているのは不思議な感じがします。少しくすぐたいですが、楽しいです。



写経用紙には
経文が薄く印刷されており、
初めてでも安心して参加できます。



地域おこし協力隊活動日誌